

# 資本主義の成立・発展・衰退

司会：今回は、東京東部県協事務局長の島田実さんのレポートで、私たちが生活している資本主義社会は、どのように発生し、経済構造の変化で資本主義はどのように変化したかを学びます。それでは、島田さんお願いします。

## 資本主義の誕生

島田：資本主義の発生は、世界で最も早いのが1649年イギリスにおけるブルジョア革命（ピューリタン革命）により誕生しました。たかだか373年前です。1700年代半ばから1800年代前半にかけての産業革命によ

り、産業資本が主要資本となり自立運動を展開できるようになります。この時代の資本主義が自由主義段階の資本主義です。

## 自由主義段階から

### 帝国主義段階へ

1873年から96年までの長期不況を契機に独占資本が発生し、帝国主義段階に突入します。日本資本主義は、1907年から15年の長期不況の中で独占資本が形成され、帝国主義段階に突入します。

レーニンが「帝国主義論」で述べた

帝国主義は、20世紀初めから、レーニンの死後1929年を以って終わり、世界的危機に対応する新しい国家体制をとります。

このように「帝国主義段階」を土台にして、「古典帝国主義」「国家独占資本主義」「新自由主義」の各局面がそれぞれの特徴をもって展開されました。この区別と性格をしっかりと把握することなくして実践の成功は期待できません、と坂牛哲郎労働大学前学長は提起しています。

ロシア10月革命後の情勢の中で、1924年、コミンテル（世界共産党指導部）は「10月革命により、資本

主義の没落が進み、全般的危機の時代に突入した」と規定しました。資本主義の支配する地域が縮小するからといって、自動崩壊することはあり得ません。問題は、世界の労働者がロシアの社会主義政権の樹立に励まされて、階級闘争が激化することなのです。私の先輩たちは、1960年代後半から70年代初めごろは「社会主義の足音が聞こえる」と言っていたそうです。

さらに、特殊な危機が発生します。

5月19日 7:54 三井住友銀行	
為替レート(円)	
外貨→円貨	
通貨 (通貨単位)	(TTB)
米ドル(1USD)	127円40銭
カナダドル(1CAD)	99円46銭
ユーロ (1EUR)	133円03銭
英ポンド(1GBP)	154円57銭

特殊な危機とは、「戦争」と「恐慌」です。10月革命は第一次世界大戦中に発生し、第二インターナショナル(社会主義者の国際組織)の「帝国主義戦争を内乱へ」の決議を実行に移したものです。恐慌は、資本主義の持病です。約10年ごとに定期的(循環恐慌)に発生し、過剰資本を切り捨てること、より高度の生産手段に衣がえし、生産を再開します。しかし、独占資本主義時代に入ると、恐慌は長期化します。

第一次世界大戦後、資本主義各国は全般的危機に加えて不況を長期化させ、労働者を革命化させる経済構造(特殊な危機)を内部に抱える独占資本主義国に変質しました。

### 国家独占資本主義の破綻

#### 新自由主義の局面へ

1971年、米国ニクソン政権は

「金・ドル交換停止」を決定し、内外に宣言しました。ドルは金と兌換(だかん)されることにより国際通貨(基軸通貨)たり得たのであり、各国通貨は金とリンクされ、為替の固定相場制は維持されてきました。この金兌換が停止されたからには、固定相場制を維持することはできません。1973年、変動相場制に突入しました。

だから今日、テレビをつけると、毎日、1ドル〓〇〇〇円〓〇〇銭と為替相場を報じています。

### 海図なき航海―新自由主義

国家独占資本主義が破綻し、資本主義各国はしばらくスタグフレーション(不況下におけるインフレーション)物価上昇から抜け出せず危機に陥っていました。

1979年、イギリスのサッチャー政権 1980年、米国のレーガン政

## ◆みんなの学習講座

権。そして日本の中曽根政権（1982～87年）が進めた政策は新自由主義政策です。初期資本主義の自由主義段階は「経済は自由に放任しておけば見えざる手により需要と供給が一致し、順調に発展」して、帝国主義段階へ変化しました。

新自由主義は自由主義と違って、国家が経済に介入し、国家独占資本主義の局面で規制してきたものをすべて撤廃し、市場原理主義が貫徹するように監視するのです。

新自由主義政策は、①労資の雇用契約が労働組合を通じた団体契約から個人契約へ、派遣や契約社員の増大。②金融の自由化⇨多国籍資本が大量に海外進出。③社会保障、社会福祉の撤廃⇨医療、年金などの改悪。④各種国営公営企業の民営化⇨国鉄（JR）、電電公社（NTT）、郵政（JP）の民営化や国立病院や公営病院の民営化など、今日も岸田政権で推し進められて

います。

### 長期不況を契機に独占が発生

司会…ありがとうございます。資本主義の3つの段階と帝国主義の3つの局面の特徴点を報告していただきました。何か質問ありますか。

高井…資本主義経済は自由主義が基本ですね。そこから反対の「独占」が発生するメカニズムをもう少し詳しく説明して下さい。

司会…同じ県協の佐久間会長から説明してもらいます。

佐久間…高井さんが指摘するように、誰が、どこで、何を生産しようが勝手です。生産し売れて儲かると思えば、資本が多く投下されます。儲からないと思えば資本を引き揚げ、次の儲かるところへ資本は移動します。

その資本の移動に合わせて、働き手の労働者もどこで働こうが自由ですが、

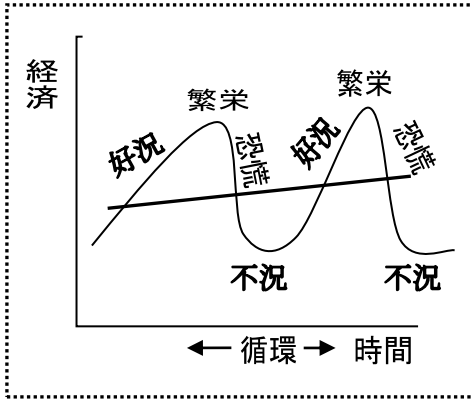
雇用され働かないと賃金はもらえず生活ができないのが労働者です。

例えば、靴の製造・販売の場合です。資本主義の初期のころは、職人が一つひとつの靴の型を作り、皮を切って手作りだったと思います。少しでも儲けを増やそうとした資本は、職人を多く雇い、いくつもの型に合わせた靴を大量に作るようになりました。

好況期には、靴は飛ぶように売れて大いに儲かりました。しかし、不況期に入ると靴を作っても売れず、商品が過剰になり、貨幣交換ができずに倒産する企業が現れます。これが資本主義初期の循環恐慌が約10年おきに現れます。

資本力の弱いA社は潰れたままで、資本力の強かったB社は生き残り、靴を製造する機械をより優秀で大量生産できる機械に変えます。倒産したA社の市場を含めて製造販売できるようになります。

資本主義初期の循環恐慌



このように、国内で当初100社以上だったのが、50社、10社、しまいには数社などと市場を独占できるようになってくるということです。  
 司会：わかりましたね。経済構造の変化で社会も変化してきています。

経済構造の変化で

国家の役割も変化

槍崎：経済構造の変化や社会の変化・発展はわかりましたが、国家の役割を教えてください。  
 佐久間：原始共産主義は、生産性が低く人間は狩猟や採取により肩を寄せ合っている、食べ物に分け合ってやっとなんか生きていたのです。  
 しかし、生産力の発展につれて、一人の労働で二人、三人を食わせることができるようになります。剰余生産物が生じ、これを収奪する権力が発生します。この権力が生産手段を独占することにより、直接生産者から剰余生産物を収奪し、国家が発生します。



アルプスを越えるナポレオン

国家とは、支配する階級が被支配者を抑圧するための機構なのです。そのために必要なものは、警察、監獄、軍隊などの強制機構であり、秩序を維持するための強制規範である法律です。自由主義段階では経済の自由な活動が保障されていたので「夜警国家」とも言われました。

しかし、独占が発生し、帝国主義段階になると独占資本の要請を受けて、国家が経済に介入してきます。

ふるい帝国主義とのちがひ

高原：帝国主義はレーニンの時代だけでなく、もつと以前からあったと思います。その違いは何ですか。

齋藤：各論的な質問ですが、帝国主義一般は、皆さんもご存知の「古代ローマ帝国」や「ナポレオンの遠征」など、他民族や他国民を侵略することです。

レーニンは、「序章」（26頁）冒頭

## ◆みんなの学習講座

で、最近の十五年ないし二十年間、とくにアメリカとスペイン戦争（一八九八年）とボーア戦争（一八九九〜一九〇二年）以降、旧世界と新世界との経済的ならびに政治的文献は、われわれの生活している時代を特徴づけるために、「帝国主義」という概念について論じることがますます多くなっている。一九〇二年には、イギリスの経済学者 J・A・ホブソンの著書『帝国主義論』。一九一〇年には、オーストリアのマルクス主義者ルドルフ・ヒルファードの著書『金融資本論』が刊行された。（中略）「われわれは、帝国主義の基本的な経済的諸特質の関連と相互関係とを、簡単に、できるだけ平易な形で、叙述しようとおもう。」（27頁）と述べています。

詳細は、第7章「資本主義の特殊の段階としての帝国主義」で5大指標をあげて、「帝国主義」とは何か述べています。

### 「帝国主義論」は帝国主義段階におけるマルクス主義である

司会…ありがとうございます。

マルクスが史的唯物論と剰余価値の発見によって、社会主義を科学にしたとすれば、レーニンは帝国主義時代のマルクス主義者として、社会主義革命を具体的に科学にしました。つまりマルクスの理論を駆使して、自由主義から生まれてこれと対立する独占資本主義を解明して帝国主義の本質に迫り、帝国主義戦争の不可避性を証明し、その戦争を内乱に転化し、革命の道を明らかにし、実践したのです。

「帝国主義論」は帝国主義段階におけるマルクス主義であり、この解明なくして第一次世界大戦はもちろん第二次世界大戦、そして現在の世界帝国主義の再編も理解することはできません。現在の帝国主義を分析するということは、ただ単に現在の資本主義経済の構

造、運動を分析するということだけでなく、その国家と階級関係と革命を考察実践するということです。

帝国主義は、1890年代を起点として今日まで続いているが、1930年代までを古典帝国主義、1930年〜1973年を国家独占資本主義、1973年以降を新自由主義の局面として捉えています（図表は4月号41頁掲載）。

マルクスは『資本論』で、資本主義の生成、発展、変質、死滅の運動を解明しました。単なる循環運動ではありません。レーニンはこの理論の上に立って、「帝国主義」を「死滅する資本主義」と把握しました。

1873年〜1896年、長期不況の中で発生した独占資本が、20世紀に入り世界資本主義を支配するまでに巨大化したのです。独占資本は独占利潤を確保するため、国内生産を制限し、資本投下を制限します。そのため資本

は過剰となり、この過剰資本の投資先を求めて植民地獲得闘争が激化するのです。

帝国主義とは何かについてレーニンは、第7章「資本主義の特殊の段階としての帝国主義」で5大指標をあげています。

そして、「帝国主義とは、独占化した金融資本の支配が成立し、資本の輸出が顕著な意義を獲得し、国際トラストによる分割がはじまり、最大の資本主義諸国による地球上の全領土の分割が完了したというような発展段階における資本主義である」と定義しています。

第10章 帝国主義の歴史的地位は、その経済の本質からすれば独占資本主義です。「帝国主義との闘争は、それが日和見主義に対する闘争と不可分に結びついていかなければ、一つの空疎で虚偽な空文句に過ぎない、ということを理解しようと欲しない人々ほど危

険なものはない」としながら、レーニンは最後に、「帝国主義の経済の本質について以上に述べたことから、帝国主義は過渡的な資本主義として、あるいはもつと正確にいえば、死滅しつつある資本主義として、特徴づけなければならないという結論が生じる」と締めくくっています。

## 次回から『帝国主義』論に入る

司会：読者の皆さん、お待たせしました。来月から本書『帝国主義』に入っていきます。それで再度、齋藤邦彦事務局長から、レーニン著『帝国主義』を読み学んでいくポイントを提起してください。

齋藤：皆さんからは、むずかしいという感想がでていきます。簡単ではありません。レーニンは、「序言」（11頁）でロシア革命前の1916年春に執筆したが、ツァーリズムの検閲を顧慮

（こりよ）し、経済的な分析（当局が出した資料を基に）にかぎらなければならなかったばかりでなく、政治についてやむをえずわずかばかり論及するばあいにも、用心深く、イソップのこぼでいいあらわさなければならなかった、と述べています。

だから、前半の数字などは気にせず読み進め、レーニンが何を訴えたかだったかです。司会者の奥山さんがまとめたように、最後の10章まできたら検閲は厳しくないだろうと、一番重要な部分を述べていると思います。

最後までお付き合いください。  
司会：今回は、いよいよ本書に入ります。田口勝義東京西部県協事務局長が第一章「生産の集積と独占」、第二章「銀行とその新しい役割」、第三章「金融資本と金融寡頭制」をレポートし、学び合います。